

# 平成 28 年の梅雨入り・明けに関するお知らせ

平成 28 年 9 月 1 日  
鹿児島地方气象台

気象庁では、毎年、春から夏にかけての実際の天候経過を総合的に検討し、各地の梅雨入りと梅雨明けの確定及び梅雨時期の特徴のまとめを行っています。

今般、平成28年の梅雨についてとりまとめた結果は以下のとおりです。

地域	梅雨入りと階級			梅雨明けと階級		
	事後検討	当初発表	平年	事後検討	当初発表	平年
奄美地方	5月16日ごろ (+)	5月16日 ごろ	5月11日 ごろ	6月18日ごろ (-)*	6月18日 ごろ	6月29日 ごろ
九州南部	5月24日ごろ (-)	6月4日 ごろ	5月31日 ごろ	7月18日ごろ (0)	7月18日 ごろ	7月14日 ごろ

地域	梅雨時期(奄美地方は5月～6月、九州南部は6月～7月)の降水量	
	地域平均降水量の平年比と階級	代表地点の降水量、カッコ内は平年値
奄美地方	103% (0)	名瀬 565.0mm(668.8)
九州南部	147% (+)*	鹿児島 1267.5mm(771.2) 宮崎 995.5mm(738.6)

梅雨の入り・明けには平均的に5日間程度の遷移期間があり、その遷移期間のおおむね中日をもって「日ごろ」と表現した。  
記号の意味：(+)\*：かなり遅いまたはかなり多い、(+)：遅いまたは多い、(0)：平年並、(-)：早いまたは少ない、(-)\*：かなり早いまたはかなり少ない、の階級区分を表す。

## 梅雨時期の概況

### 奄美地方

5月中旬は高気圧に覆われて晴れの日もありましたが、中旬の後半から梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多くなり、5月16日ごろ梅雨入りとなりました。

6月上旬は梅雨前線の北上や南下に伴い短い周期で天気を変化させたため、日中を中心に晴れて日照時間は多くなりましたが、雨の日も多くなりました。6月中旬前半は梅雨前線の影響で曇りや雨の日が続きましたが、その後は太平洋高気圧に覆われて晴れの日が多くなり、6月18日ごろに梅雨明けとなりました。

### 九州南部

5月中旬までは高気圧に覆われて晴れの日が多くなりました。5月下旬の中頃から梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多くなり、5月24日ごろに梅雨入りとなりました。6月上旬は、高気圧に覆われて晴れの日もありましたが、梅雨前線や湿った気流の影響を受けやすくなり、曇りや雨の日が多くなりました。

6月中旬から7月中旬の中頃にかけては梅雨前線が九州付近に停滞することが多かったため、九州南部では大雨となった日が多くなりました。7月中旬の終わりから下旬にかけては、熱帯低気圧や湿った気流の影響で曇りや雨の日もありましたが、高気圧に覆われて晴れの日が多くなり、7月18日ごろに梅雨明けとなりました。

なお、梅雨時期の降水量は、奄美地方では平年並、九州南部では梅雨前線が停滞して活動が活発となったため、かなり多くなりました。